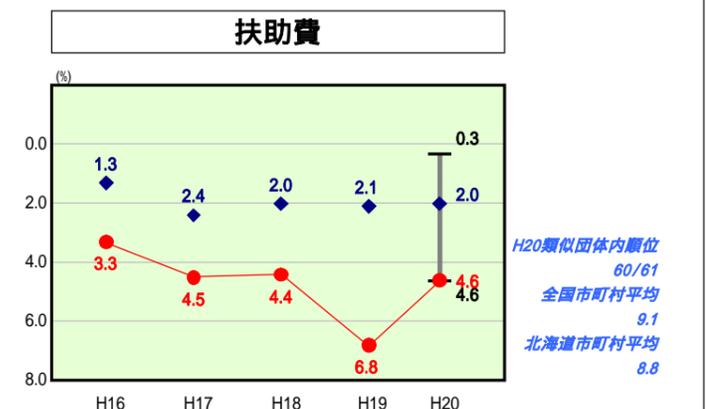
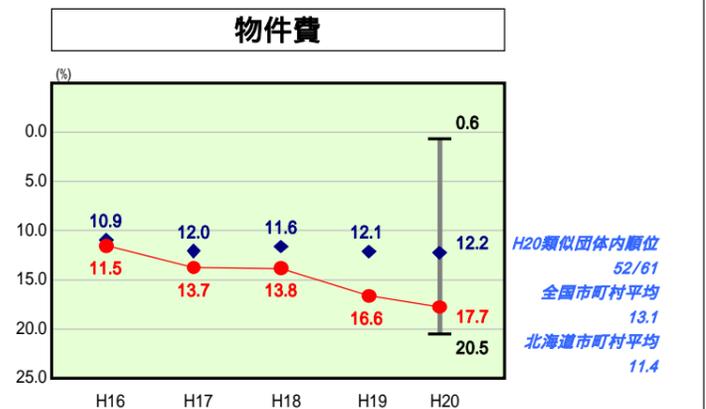
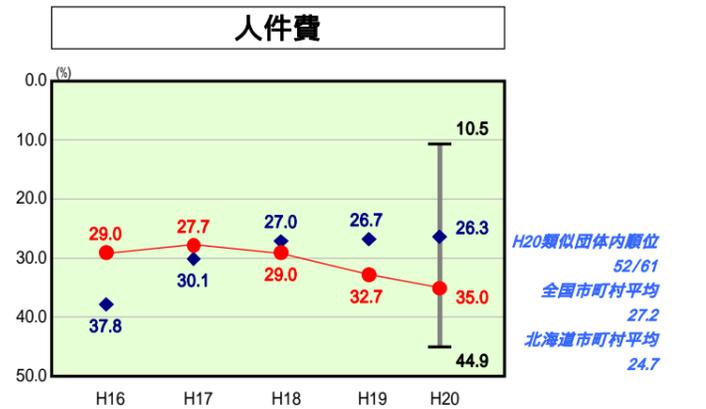
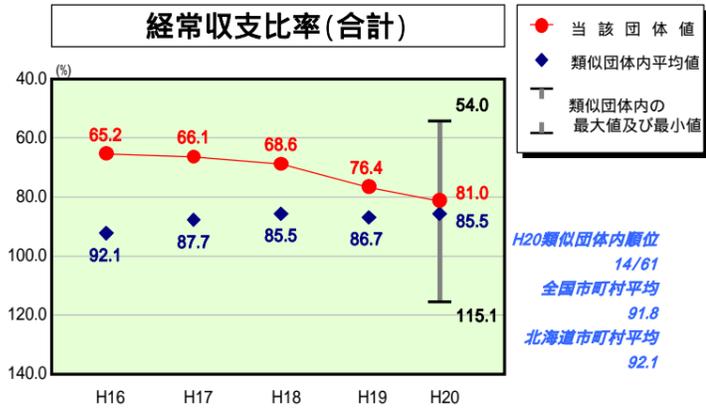
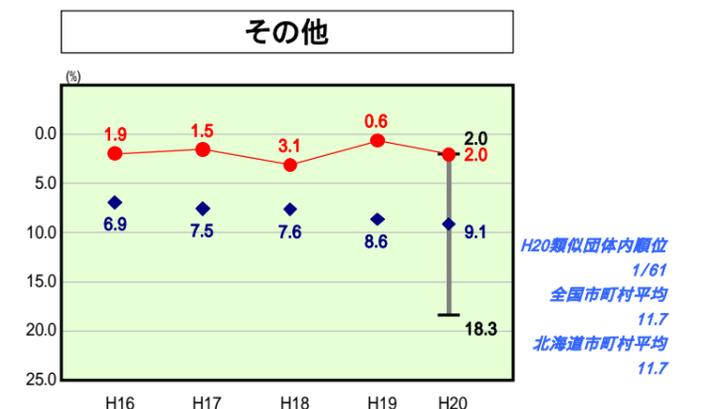
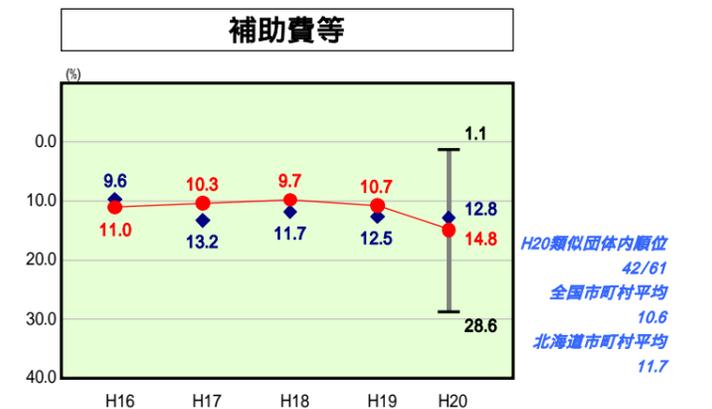
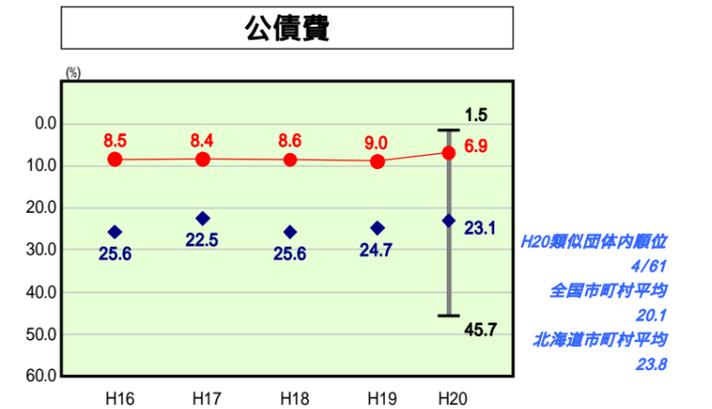
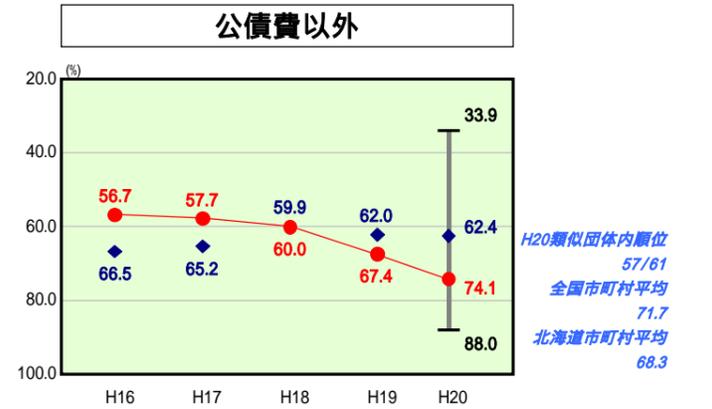
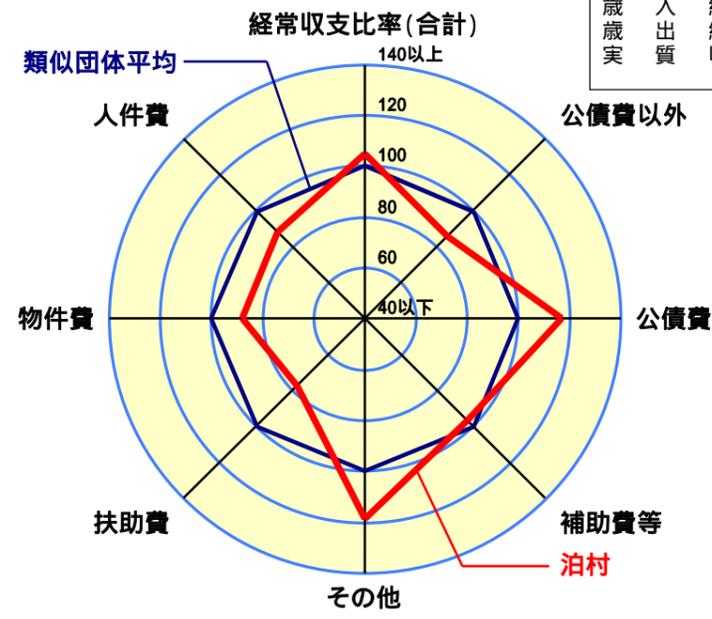


# 歳出比較分析表(平成20年度普通会計決算)

## 経常収支比率の分析



人口	1,983 人(H21.3.31現在)
面積	82.35 km <sup>2</sup>
標準財政規模	1,435,685 千円
歳入総額	4,538,740 千円
歳出総額	4,518,563 千円
実収支	19,191 千円



- 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 当該団体の八角形が平均値の八角形より外側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

**分析欄**

**人件費**  
類似団体と比較するとやや高くなっているのは、老人ホームなど村営の各施設に職員を配置している点が考えられ、集中改革プランに掲げる退職者不補充等の人員削減は着実に進んでいる。

**物件費**  
類似団体に比べ高くなっているのは、各種施設(スポーツ施設等)の維持管理費に係る管理業務等の経費によるところが大きい。現在のところ業務に民間委託等については考えていないが、かかる経費を少しでも減らし、財政の圧迫に歯止めをかけるよう努める。

**扶助費**  
扶助費にかかる経常収支比率が類似団体平均を上回り、かつ上昇傾向にあるのは、養護老人ホーム施設費、身体障害者福祉施設支援費、老人福祉施設措置費、知的障害者施設支援費等の経費が膨らんでいることが考えられる。上昇傾向に歯止めをかけるべく、一つ一つの経費に無駄がないかの洗い出しを急ぐ。

**公債費**  
公営住宅建設事業に係る起債の償還は続いているが、類似団体と比較し大きく下回っている。一人当たりの決算額としては下水道の償還があり、若干上回っている程度であり、今後も財政を圧迫するような新規の起債がないよう努める。

**補助費等**  
平成17年度以降類似団体を下回っていたが平成20年度においては上回っており、今後においては補助費等により財政を圧迫させないよう努める。

**その他**  
類似団体を下回っており、今後もこの水準を維持し不要な歳出がないよう努める。

**普通建設事業費**  
平成14年度～平成17年度は類似団体を上回っていたが、平成18年度は下回り、平成19年度はまた上回ったが、平成20年度にはまた下回っている。今後は不要な歳出がないよう努める。